

数 学

数学科における指導の重点(身に付けさせたい力) ※学習指導要領に照らし合わせて	
<input type="checkbox"/> ア 知識及び技能	<input checked="" type="checkbox"/> イ 思考力、判断力、表現力等
数量や図形の基礎的内容の習得と計算・処理の力の定着を図る。	習得した知識及び技能を活用して問題を解決する力を育む。

	生徒の学力の状況(課題)	授業における具体的な手だて	手だての実施時期	成果検証(2月)
第1学年	<input checked="" type="checkbox"/> ア基礎計算につまずいたり、計算方法を理解しているが正しく計算をやりきることができなかつたりする生徒が多い。 <input type="checkbox"/> イ文章問題に苦手意識をもつ生徒が多い。	<input checked="" type="checkbox"/> ア計算ミスの原因を振り返らせることを習慣化させる。ミスの多い箇所について丁寧に指導する。 <input type="checkbox"/> イイメージしやすい例題を扱い、生徒の興味をひく授業を心がける。	2,3学期	
第2学年	<input checked="" type="checkbox"/> ア基礎計算はできるようになるまでに多くの努力を要する生徒が多い。よって、習ったばかりの内容には課題を感じる生徒が多い。 <input type="checkbox"/> イ文字を使って計算内容を一般化することに課題がある生徒が多い。	<input checked="" type="checkbox"/> ア自分自身で計算ミスの原因を振り返らせることを習慣化させる。ミスの多い箇所について丁寧に指導する。 <input type="checkbox"/> イ手順を丁寧に確認しながら反復的に練習をさせる。	2,3学期	
第3学年	<input checked="" type="checkbox"/> ア「全国学力・学習状況調査」の結果から、全国と比較して「数と式」領域が他の領域に比べて差が大きい。 <input type="checkbox"/> イ授業の様子や定期考査の結果から、思考・判断・表現の観点の問題の正答率が低い。	<input checked="" type="checkbox"/> ア前時間や前学年の復習を取り入れることを意識する。また、基礎コースは指導内容を精選し、基礎学力の定着に焦点を置き指導を行う。 <input type="checkbox"/> イ文章題の問題文を区切って確認したり、細かく発問したりすることで心理的な抵抗を取り除く。	2,3学期	

■「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた一人一台端末等 ICT の効果的な活用について	■学習の見通しをもたせることや学習を振り返ることの工夫等、「学びに向かう力」の育成に向けた取組について
<p>[第1学年] 平面図形、空間図形などでタブレット端末を用いて、図形を自分の意思で動かすことで学びを深める。</p> <p>[第2, 3学年] ロイロノート(学習支援アプリ)を用いて発問の解答を提出させるなど、生徒の意見や考え方を個人で振り返ったり全体で共有したりする活動を行う。</p>	<p>[全学年] 各単元の終わりにレポート課題を提示することで、まとめる力をつけさせ、単元で学習した内容について振り返ることで次章の内容につなげる。</p>